

NPO法人 アルテピアッツァびばい 平成23年度活動報告書



ギャラリー

カフェアルテ・体験工房

アートスペース

その他

4

6月18日
第9回 アルテの「森語り」



5月21日
第17回
「林峰男チェロリサイタル」

6月11日
第22回「森の広場の音楽会」

5

6

7

7月9日
北海学園大学「法学部カフェ」

7月9日・10日
安田侃の「こころを彫る授業」

7月10日
「ポポロミーティング」

8月28日
第11回「イリス弦楽四重奏団
コンサート」

8月13日
「アルテの盆踊り」



8

8月11日～21日
「思い出の炭鉱写真展」



9月11日
第10回 アルテの「森語り」

9月18日・19日
安田侃の「こころを彫る授業」

9月17日
美唄青年会議所「そらいく」

10月11日
「ぼよん共和国in美唄
中西圭三チャリティLIVE」



10月2日
「じん肺根絶の碑」除幕式

10

11

10月29日
第23回「森の広場の音楽会」



11月7日
ブロンズ「天秘」設置



12

12月23日
第11回 アルテの「森語り」

2月26日・3月25日
小学生のための「こころを彫る授業」



1

2

3

3月31日・4月1日
安田侃の「こころを彫る授業」

1 施設および環境の維持・管理・保全



1年を通して、来場者が過ごしやすく、いつもお越しいただいても気持ちよい空間と感じていただけるよう施設を管理しています。四季を通じて、作品清掃・見回りを毎日行い来場者の安全確保にも努めています。流路・池清掃は4月から11月の間、月1・2回のペースで休館日を含む2日間をかけて行いました。5月から9月までは毎週土曜日、10月は毎朝1時間半を「クリーン会」とし、ボランティアの方々にご協力いただきながら、草むしりや折れ枝

拾い、落ち葉集めなどを行いました。また、例年春先に近隣にヒグマの目撃情報があることから、日常的に巡回し、早朝に敷地内で爆竹を鳴らすなどして対策を実施しました。

春に水の広場排水改良工事を行い、流路周りの芝生の水はけをよくしました。夏は雨が少なく芝生の水やりが大変でした。そして、冬は例年になく大雪が降り積もり、連日、除雪機・除雪ショベルを稼働したため、故障修理や部品交換を頻繁におこなう必要

がありました。また、雪の重みで枝に負担がかかり、たくさんの枝が折れてしまいました。

去年より引き続き、避難訓練などを行い安全管理面の強化に努めました。また、美唄消防署消防士を招いて AED救急救命講習会を開催し、スタッフ全員で受講しました。

開設20年目を迎え、各施設、各備品メンテナンスが必要な場面も多々ありますが、美唄市と協議の上、良策を考えながら対処していきます。

2 利用者や来訪者への対応



来場者は四季を通し、道内外より約3万人の方々にお越しいただいています。季節の移り変わりを楽しみにお越しくくださる方も多くいらっしゃいます。ここに流れる心地よい時間を過ごしていただき、アルテピアッツァ美唄を感じていただくお手伝いが出来るよう来場者へのご案内を心がけました。また、希望される団体へはアルテピアッツァ美唄の概要をご説明し、個人での再訪につながるよう努めております。

また、ホームページで池・流路清掃の日程

をあらかじめお知らせすることを本年度より始めました。来場者より「ホームページを見て清掃日だったので、違う日に来ました」との声もいただいています。

ギャラリー、アートスペース、スタジオオアルテへは大変多くの利用申込及びお問い合わせをいただきました。展覧会・講演会・発表会・コンサートなどそれぞれ異なる目的での施設利用のお申込ですので、施設本来の展示空間としての在り方を都度考えながら対応をすすめました。

3 体験工房スタジオオアルテの活用状況

「ここを彫る授業」は、NP0スタッフが担当する毎月第一土・日曜日の開催のほか、安田侃さんが直接指導する授業や、小学生を対象とした授業など、延32日間開催しました。道内、道外からの新規参加者、授業に継続で参加される方も年々増えています。

また、美唄市立美唄中学校の美術授業にも活用していただきました。屋内外の彫刻鑑賞とスケッチのあと、工房を利用して彫刻を

粘土で制作しました。

その他、美唄市主催の写真講座や、写真を使ったワークショップ「アルバム作ろうの会」、持ち寄った本を交換するイベント「ブック交換」、俳句の会など、様々な用途に利用していただきました。また、団体で来られた方の為に昼食を提供する場所としてなど広く活用しました。



4 「こころを彫る授業」



当 NPO が主催している、 스튜디오アルテで行なわれる誰もが参加できる彫刻の授業です。イタリア産の白大理石、国内産の軽石、どちらかの素材を選んでいただき、のみや金づち、棒やすりを使って自分の「こころ」を形にしていきます。上手に形にすることではなく、目にみえない自分のこころを石と向きあうことで自分と向きあい、それが「かたち」となることを目指します。今年度は、軽石に変わる素材として、新たに北海道産の軟石の導入を検討しました。

平成 19 年 4 月からはじまり、毎月第一土・日曜日に開催していますが、安田侃さんが講師となる「安田侃の『こころを彫る授業』」も

7 月、9 月、3 月に開催され、定員を超えるお申し込みをいただきました。また、初めての試みである、小学生を対象とした「小学生のための『こころを彫る授業』」も 2 回開催しました。大理石の彫刻のほか、アルテピアッツァを散策するツアーもとりいれ、参加した小学生からは「楽しかった、また続きを彫りたい」との感想が聞かれました。

その他、今年度も彫刻体験を組み入れたイベントやツアーを受け入れ、限られた時間ではありますが小さめの軽石を使って「こころを彫る授業」ダイジェストを体験していただきました。

5 カフェアルテの運営

カフェアルテの営業も 5 年目となり、今年度から新たなスタッフも加わりました。コーヒーの薫り漂うスペースで、静かにゆったりとした時間を過ごしてもらえるよう適切な接客をこころがけました。メニューとしては飲み物と手作りケーキ、地場の小麦を使ったパンのほか、夏にはソフトクリームや水出しアイスコーヒーが好評です。冬場のメニューとして、昨年好評いただいたかぼちゃスープとパンのセットメニューに加え、子どもも飲める温かいメニューとして新たにホットミルクも提供しました。

また、昨年度から引き続き「こころを彫る

授業」の参加者への昼食として、地元農家の主婦のグループによる「かあさんの味」を用意しました。美唄の特産物をつかった心づくしの料理は、今では授業に参加される方の楽しみのひとつとなっています。その他、新たに調理師資格を持つカフェスタッフも加わり、「安田侃の『こころを彫る授業』」の参加者や、団体様への昼食の提供なども積極的におこないました。カフェで季節の節目に開催している朗読会「アルテの森語り」も定着し、11 回目をむかえ、毎回定員いっぱいとなり盛況です。



6 炭山(やま)の記憶事業

毎年お盆にはギャラリーで炭鉱に関連した写真展を開催していますが、当法人が単独で主催する「思い出の炭鉱写真展」を初めて開催しました。この時期はかつて美唄に住んでいた、炭鉱が栄えていた頃の美唄で過ごされたの方々が一番多く美唄に里帰りされます。アルテピアッツァ美唄では「お帰りなさい」の気持ちを込めて写真展を開催しています。平成 23 年のテーマは「学校」。展示室に机や椅子を並べ、壁面には昭和 30 年代の美唄の小学校の写真と校歌のパネルを掲示いたしました。パネルを見て校歌を口ずさむ来館者もいらっしやいました。

また、8 月 13 日には、第 2 回「アルテの盆踊り」を開催しました。こども盆踊り・おとな盆踊りの 2 部構成で、おとな盆踊りは炭鉱が栄えていた当時と同様、太鼓の音頭で「北海盆唄」を踊りました。ご近所の方に大きなご協力をいただき、前年よりも大きな輪になって踊ることができました。日が暮れた頃、ポポロの皆さまをはじめ、市内の子どもたち、栄幼稚園の園児たち等に作成のご協力をいただいた「こころキャンドル」を池と流路のまわりに灯しました。この日だけの特別な水の広場を見た方が「あなたも見たほうがいいわよ」とお友達にお伝えしてくれているそうです。

炭山(やま)の記憶を伝える手法としてフットパスに着目し、宮島沼の会が主催したワークショップ「美唄の歴史と自然を活かしたフットパスをつくろう！」に参加し、アルテピアッツァ美唄が考えた東美唄フットパスコースを発表しました。炭鉱写真展でも手書きした東美唄炭鉱遺産マップ「ポケット東美唄」を作成し、好評をいただきました。その他、観光人材研修生を受け入れ、炭鉱メモリアル公園や我路ファミリー公園、「炭山の碑」を簡単な説明をしながらご案内しました。

7 ポポロ事業



イタリア語で「市民」を意味するポポロ、「アルテ市民ポポロ」制度になって2年目の年でした。より多くの方とアルテピアッツァ美唄を『こころのふるさと』として、確実なかたちで次世代へ繋いでいくための発足です。

7月に「ポポロミーティング」を開催したほか、市民証を発行したり、催しのお知らせなどを発信し、ポポロ対象の「ボランティア説明会」を設け、催しや日々のクリーン活動等、さまざまな場面でご協力いただきました。

また、9月～11月に札幌中心部で開催された「安田侃 野外彫刻展一街に触れるー」を見に行く美唄発着バスツアーを美唄市と共催し、美唄ポポロ(美唄市在住のアルテ市民ポポロ)の皆さまや市内中学生35名で札幌へ行き、作品を鑑賞してきました。

ポポロ参加者をひとりでも増やすために、リーフレット配布の機会を増やすなど、宣伝に努めています。

8 情報発信

平成18年度から発行している会報「アルテ通信」は、今年度はvol.14、15、16の3号を発刊しました。その他、昨年度リニューアルしたホームページ、ブログも頻繁に更新し、アルテピアッツァ美唄の四季折々の様子や、アルテで行われる催事、安田侃さんの情報などを広くみなさまにお伝えできるよう努めました。

その他、テレビ、新聞、雑誌、WEBなどの様々な媒体でアルテピアッツァ美唄をご紹介いただきました。NHK総合(北海道ブロック)「Small Trip -小さな荷物で週末旅-」では初夏のアルテが美しい映像で放映され、来訪者の方からも多く反響がありました。



9 コンサート・イベント



アートスペースやスタジオアルテでは多くの催しがありました。17回目となった「林峰男チェロリサイタル」や「イリス四重奏団コンサート」、春・秋と毎回楽しみにしている方も多い「森の広場の音楽会」などが今期も開催されました。「池田聡ぶらりツアー」や「bonobos冬のライブツアー」など、ツアーコンサートの会場にもなりました。またピアノ教室

やおよ劇場など地域の文化活動の場としてもご利用いただきました。

10月11日には「東日本大震災チャリティライブ ぼよん共和国 in美唄 中西圭三チャリティーLIVE」が開催され約200名が集まりました。10万418円もの震災復興への支援募金が集まりました。

10 書籍・グッズ等

販売事業では、ギャラリー及びカフェで、Tシャツ、版画、書籍、カレンダー、ぱたぱたアルテ、DVD、ポストカードなどを扱っています。ポストカードは新たに設置された彫刻も追加されました。また、昨年札幌でおこなわれた「安田侃 野外彫刻展一街に触れるー」の図録・2012年カレンダーをアルテでも取り扱いしています。

11 展覧会

ギャラリーを利用した、写真、絵画、陶芸、彫刻などプロ・アマ問わずさまざまなジャンルの展覧会が開催されました。市内の小・中学校の美術作品の展覧会も開催し、親子で作品鑑賞を楽しむ姿もありました。年間通しての活用がすすみ、例年明けには翌年度の予約が埋まり始める状況になっています。

12 緊急雇用観光 人材育成委託事業

平成22年度から引き続き、美唄市より緊急雇用観光人材育成委託事業を受託し、美唄市の観光交流の広がりや資する人材育成を行いました。中国語研修に加え中国企業訪問などより実務的な研修をおこないました。

NPO法人アルテピアッツァびばい 収支計算書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

「特定非営利活動に係る事業」分

(単位：円)

科 目	金 額	
(資金収支の部)		
I. 収入の部		
1. 会費収入		2,429,000
2. 募金箱収入		667,681
3. 寄付金収入		1,091,000
4. 助成金収入		601,200
5. 受取利息収入		1,510
6. 事業収入		
指定管理者事業	16,062,650	
工房活用事業	1,546,740	
炭山の記憶事業	343,470	
雇用委託事業	2,846,548	20,799,408
収入 合計		25,589,799
II. 支出の部		
1. 事業費		
指定管理者事業	16,634,704	
工房活用事業	1,279,732	
炭山の記憶事業	1,389,408	
広報事業	1,675,363	
アルテ市民popolo事業	1,164,207	
雇用委託事業	2,743,734	24,887,148
2. 一般管理費		
		5,524,802
支出 合計		30,411,950
収支差額		-4,822,151
前期繰越正味財産額		14,940,782
当期正味財産合計		10,118,631

「その他の事業」分

(単位：円)

科 目	金 額	
I. (収入の部)		
1. 販売事業収入		2,503,700
2. 喫茶売上収入		9,217,885
3. 収益事業収入		148,500
収入 合計		11,870,085
II. (支出の部)		
1. 販売事業費		1,607,717
2. 喫茶事業費		9,436,289
支出 合計		11,044,006
収支差額		826,079
未払法人税額		80,000
前期繰越正味財産額		980,137
当期正味財産合計		1,726,216

アルテピアッツァ美唄の出来事、安田侃さん展覧会など



じん肺根絶の碑

9月末、アルテピアッツァ美唄に新しく彫刻が設置されました。北海道じん肺基金の依頼により安田侃氏が制作した「じん肺根絶の碑」です。

肺に粉塵がたまり、肺が石のようになっていき、やがて呼吸ができなくなる「じん肺」。炭鉱従事者の多くの方が疾患され、亡くなった方、今も苦しんでいる方がたくさんいます。呼吸がままならなかったじん肺患者に

思いを寄せ、「大きく息を吸い込んで呼吸をしている肺をイメージした」と安田氏。

10月2日に北海道金属じん肺訴訟原告団・弁護団、北海道石炭じん肺訴訟原告団・弁護団など約200名による除幕式が行われました。除幕式の様子はTVや新聞でも紹介され、作品を見るため来られる方もいらっしやいます。

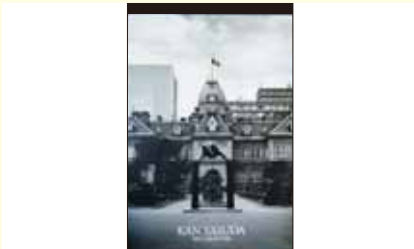


天秘設置!

「生まれたー!」と栄幼稚園の園児たちが朝一番で気付きました。ギャラリー(栄幼稚園)螺旋階段の近くに「天秘」が設置されたのは11月7日の午後、園児たちが帰ったあとでした。「天秘」に腰をかけて休む大人、よじ登って遊ぶ子ども…人気です。

創成川ポポロ

2011年春にオープンした札幌・創成川公園には、安田侃氏の作品が4点常設展示されています。設置に立ち会った方々が、この彫刻をきれいに守っていくために「創成川ポポロ」を立ち上げました。アルテ市民ポポロでもある方々です。第3土曜日、午後2時より彫刻および彫刻まわりでボランティア清掃の活動をしています。「創成川ポポロ」まだまだメンバー募集しているそうですよ!



「安田侃 野外彫刻展一街に触れるー」

9月3日～11月20日の間、安田侃さんの大規模な野外彫刻展「安田侃 野外彫刻展一街に触れるー」が札幌で開催されました。すでにJR札幌駅や知事公館に常設されている白大理石の作品に加え、新たにブロンズの作品20点が期間中札幌の中心部に展示されました。行き交う人々が、安田さんの彫刻を通して、札幌の街や風景に触れた2ヶ月間だったのではないのでしょうか。会期中は「札幌で野外彫刻展を見て」という方がアルテピアッツァ美唄にも大勢来ていただきました。

「こころを彫る授業」

誰もが参加できる彫刻の授業です。石と向きあうことで自分と向きあい、目にみえない自身のこころが、「かたち」となることを目指します。

日時 | 毎月第一土・日曜日の10:00～16:00

場所 | アルテピアッツァ美唄 内 ス튜디오アルテ(体験工房)

申込・お問合せ | NPO法人 アルテピアッツァびばい ☎ 0126-63-3137

初回参加費

一般	白大理石	15,000円	軟石	10,000円
中学生以下	白大理石	9,000円	軟石	5,000円

アルテ市民 popolo

アルテピアッツァ美唄のかけがえのない空間を守り、「こころのふるさと」として次世代につなげていきます。

アルテ市民 popolo になると

- アルテ市民証が発行されます。
- アルテ通信が年3回届き、アルテの現在(いま)を知ることができます。
- 年1回以上のポポロパーティーに参加したり、ポポロミーティングで意見を述べたりすることができます。

市民会費

ポポロ	3,000円
コポポロ(中学生以下)	500円
美唄ポポロ(美唄在住の方)	500円
※期間は毎月4月1日～翌年3月31日までの1年間です。	

お問合せ先

NPO法人 アルテピアッツァびばい
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
メール arte@artepiazza.jp
URL <http://www.artepiazza.jp/>

NPO法人 アルテピアッツァびばい

アルテピアッツァ美唄のかけがえのない空間を守り、「こころのふるさと」として次世代につなげてゆきます。

代表者 理事長 磯田憲一
スタッフ数 常勤9名

沿革

平成17(2005)年4月 設立総会
平成17(2005)年8月 NPO法人認証
平成18(2006)年4月 指定管理者制度により美唄市よりアルテピアッツァ美唄の管理運営を受託
平成19(2007)年4月 カフェアルテ、スタジオアルテ(体験工房)オープン、運営受託
平成19(2007)年4月 第1回安田侃の「こころを彫る授業」開催。以降、NPOスタッフが担当して毎月開催
平成21(2009)年10月 北海道新聞北のみらい奨励賞受賞
平成22(2010)年1月 平成21年度地域づくり総務大臣表彰受賞
平成22(2010)年4月 アルテ市民ポポロ制度発足

ARTE PIAZZA BIBAI



アルテピアッツァ美唄はかつて日本有数の炭鉱都市だった美唄市の山間にある野外彫刻公園です。

公園には地元出身で国際的に知られるイタリア在住の彫刻家、安田侃の大理石やブロンズの作品40点余が展示されています。炭鉱住宅跡に再生された木々茂る山々や清流に囲まれた空間では、四季の移り変わりを満喫できます。

- 開館時間
水曜日～月曜日
午前9時～午後5時
入館無料
- 閉館日
毎週火曜日・祝日の翌日
(日曜日は除く)
12月31日～1月5日
- 交通
電車：JR函館本線利用で札幌より35分、
新千歳空港より75分。
美唄駅下車、市民バス「アルテピアッツァ
美唄」行きで約20分。
車：道央自動車道利用で
札幌JCTより40分。
美唄ICより右折、5分。駐車場有り。

アルテピアッツァ美唄
〒072-0831 北海道美唄市落合町栄町
TEL/FAX 0126-63-3137
URL <http://www.artepiazza.jp/>

